

高島公民館だより

高島公民館
(アイリッシュパーク内)

〒520-1121

高島市勝野670

TEL 36-0219

FAX 36-1909

t-kominkan@city.takashima.lg.jp

2024年 4月号 2024.3.19 (文責: 高木)

今年の冬は積雪も少なく暖冬でしたが、3月になって降雪の日があるなど寒い日が続きました。3月11日に琵琶湖の全層循環（琵琶湖の深呼吸）が確認されたと滋賀県琵琶湖環境科学センターから発表がありました。例年1月下旬から2月に確認されていますが、今年は3月の発表となりました。「琵琶湖の深呼吸」は酸素を多く含んだ湖面近くの水が冬場の冷え込みや風の影響で湖底の水と混ざり合って湖全体の酸素濃度がほぼ同じになる現象です。全層循環が起こるか否かで湖底近くに生息するイサザやスジエビ等に大きな影響があります。今後も琵琶湖の自然や動向に関心をもちたいと感じています。

探訪・高島の自然と歴史景観⑤

「コハクチョウ・ザゼンソウの観察」2月22日

この度、第5回の標記講座を、水谷裕之氏を講師に迎えて開催しました。今回は安曇川町横江付近に毎日飛来してくるコハクチョウと今津町弘川に生息しているザゼンソウの観察を実施しました。

コハクチョウは、田んぼの落ち穂や二番穂、ミミズ等を食べているようです。なぜ、一部の田んぼに集まるのかを講師の水谷氏に尋ねると、有機農法で稲作をされている田んぼに集まる傾向があるとのことでした。朝、8時ごろに近くの松ノ木内湖のヨシ原から飛来し、夕方にはまた、松ノ木内湖へと帰っていくそうです。一斉に飛び立つところが見ものだそうです。3月の中頃まで見られるようです。



コハクチョウの観察



ザゼンソウの観察

今津町のザゼンソウは今から40数年前、当時今津中学校で理科教員をされていた中村美重氏（故人）が発見されたあと、水谷裕之氏が今津中学校に赴任され、今津町長から依頼されて、調査・研究をされたことから、保全の取組がはじまりました。水谷氏は滋賀の自然誌に研究の成果を発表されました。この地域のザゼンソウ研究の先駆者です。日本全体をとおして、このあたりが南限になっています。ザゼンソウはサトイモ科の多年草で、2月ごろから3月ごろにかけて花が咲きます。仏像の光背に似た仏炎に包まれた花の姿は、僧侶が座禅を組んでいるように見るところからその名がついたと言われていました。ミズバショウと似ているところもあります。この貴重なザゼンソウがこの地になぜ生息をしてこられたか。ここが竹林にかこまれた湿地であることが大きな要因です。石田川の流域にあり、湧水が絶えず流れているのです。この日の観察でも湧水がしっかりと見られました。また、適度な日当たりと日陰のバランスがよかったとのこと。微妙な関係で自然が保てなくなることも学びました。その後、今津東コミュニティセンターへ会場を移し、水谷氏とザゼンソウの保全と観光のPRに関わってこられた今津公民館の石田与志雄氏から説明を受けました。今では宮西区が保全の取組に努力しておられます。

高島地域人権学習会 「世界がもし100人の村だったら」2月23日

人権教育推進協議会高島支部では、このたび、世界の格差や多様性を体感を通して参加者の皆さまに理解してもらおうと、「世界がもし100人の村だったら」と題して人権学習会を開催しました。講師に三矢艶子氏（高島市人権擁護委員、元高島市教育委員）大杉千晶氏（市内小学校非常勤講師、元高島小学校教諭）を迎えて、小学生5名・中学生1名・地域の大人の方20名、計26名の皆さまにご参加いただきました。小・中学生と地域の大人がいっしょに、ワークショップ（参加型学習）を通して、人権について学びを深めることができました。（裏面に続く）

世界のことでこんにちは

アイスブレイキング（行ってみたい国や地域）



行ってみたい国にシールを貼る



どうしてその国なのかを話し合う



カードに書いてある言葉であいさすの仲間を見つけて



一人当たりのプラスチックの生産量を国ごとに比較する



一人当たりのお菓子の量で比べる



感想を述べ合う

○子どもたち（児童・生徒）

- ・大人のいろいろなたくさんの人と話して楽しかった。勉強になり、またやりたい。
- ・色々な国々の環境のちがいがよくわかり、利害が出てくることもわかった。

【参加者の感想から】

○一般の方

- ・100人の村をモデルにしているのはとてもわかりやすく、世界のある姿、その中の日本の置かれている現状を見える形で体感させてもらった。とても楽しみながら理解を深めることができた。思いやりの行動を起こすためには、まず相手への理解を深める、思いを巡らせる、想像することが大切だと思った。
- ・今、世界情勢が非常に不安定で各地で内紛や戦争のニュースが絶えず、心が痛む。自分のことだけでなく、広く世界を見る目をもつことが大切で、相手へのリスペクトの大切さも教えてもらった。
- ・世界の現状や縮図を感じることができ、知らない人とも気軽に話すことができた。内容についても改めて考えさせられることが多く、理解しやすかった。一方的な講演ではなく、それぞれ考える場面がよい経験になった。
- ・地球沸騰期という事をテレビ等で聞くと、しわ寄せはどうしても途上国など貧しい国に今以上のつらい現実が起こるのではと思ってしまう。自分の周りの日常からプラスチックゴミ問題など考えていきたいと改めて感じた。

【高島図書室から】

📖 📖 📖 ☎ 36-2160

心はずむ春。新しい世界に飛び出したり、新しいことを始めてみたりする人も多いのでは？

なにか始めてみたいけど…、とお探しの方はぜひ図書室へ！
書架で思いがけない出会いがあるかもしれませんよ。
今回は新しく入った本の中からこちらの2冊を紹介します。



『のち更に咲く』 澤田 瞳子 / 著 新潮社

2024年大河ドラマ『光る君へ』で、源氏物語や作者である紫式部、彼女を見出した藤原道長、そして彼らの生きた平安時代が注目されていることと思います。

2月号でも紫式部に関する本を紹介しましたが、こちらの小説は紫式部や藤原道長たちを、また違う目線から描いた物語です。

主人公の小紅は、道長邸に勤める女房です。道長の権勢を転覆させようと暗躍する盗賊の首魁が死んだはずの兄だと聞き、検非違使の忠信と共に、その正体を追い始めます。次第に明らかになる過去の因縁と王朝の間、そして――。

読み始めると、きつとページをめくる手が止まらなくなります！

『病気を遠ざける！魚の缶詰レシピ』 白澤 卓二 / 監修 河出書房新社

ぼん、と開けるだけでいつでも手軽に食べられる缶詰は、食卓の頼もしい味方です。世の中にはいろいろな缶詰がありますが、今回紹介するのは『魚の缶詰』です。

この本によれば、魚の缶詰には血液をさらさらにし、脳や血管を若返らせる栄養素が一缶にぎゅっと濃縮されているのだとか。もちろん、ビタミンやカルシウムも豊富！ 栄養豊富で食べやすく、味付けも簡単、しかも長期保存もできて、といいことづくめです。

掲載されているレシピは、どれも手軽でおいしそうなものばかり！すぐに試せそうなものがいろいろ載っています。

最近、魚をあまり食べてないかも……という方は、ぜひ気軽な缶詰から取り入れてみては？

お探しの本がみつからない時はお気軽にカウンターでおたずねください。貸出中の場合は、ご予約できます。

高島公民館 4月の予定表

1	月	休館日（図書室休み）
2	火	（図書室休み）
3	水	
4	木	高島スポーツ少年団指導者協議会
5	金	
6	土	高島学区子ども会連合会総会
7	日	
8	月	休館日（図書室休み）
9	火	（図書室休み） 高島スポーツ少年団入団式
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	休館日（図書室休み）
16	火	（図書室休み） 高島青少年育成学区民会議常任委員会
17	水	
18	木	高島地域スポーツ振興会役員会
19	金	
20	土	お話し会（和室10:30～11:00）
21	日	
22	月	休館日（図書室休み）
23	火	（図書室休み）
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日
30	火	休館日（図書室休み）

公民館へ行く！

2024

高島市立 高島公民館

公民館教室・講座案内



令和6年度の公民館教室・講座案内パンフレットを作成しました。4月2日より高島公民館・高島支所・高島図書室等で配布します。